振興会だより

第45号
28. 12. 22
遠別農業高等学校
教育振興会



夢はばたく遠農

教育振興会 会長
内山勝弘

振興会会員の皆様、遠別町並びに各関係機関の皆様には、平素より本振興会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝とお礼を申しあげます。

子供たちのこれから生きていく21世紀の社会は、IT技術の発達により、情報網は急速に整備され、情報の高速化、大量化の進展とともに、生活はより便利に、よりスピード化されてきています。又、人口の減少や少子高齢化、グローバル化の進行の中で複雑、多様化し、人と人とのつながりや絆を大切にし、協働しながら新しい知識や価値を生み出していく力が必要だと思います。自らの頭で考え、自らの心で感じ、自らがなすべきことを自己決定できる若者を育成することは、もっとも大切な教育の使命です。

遠別農業高校は、道北唯一の農業高校として、一人ひとりの生徒を大切にし、持続可能な社会づくりを担う人材育成に細川校長が先頭に立ち、教職員が一丸となって地域から信頼される学校づくりを取り組んでいます。

本振興会も、子供たちのために地域、保護者が一体となって学校を支え、今まで以上に遠別町、各関係機関の皆様のご支援、ご理解をいただきながら、遠別農業高校の存続と発展に努力して参りたいと思いますので、更なるご指導賜りますようお願い申し上げます。



地域と歩む信頼される学校をめざして

校長 細川 徹

日頃より本校の教育活動ならびに各種取り組に対しまして、会員の皆さまはもとより遠別町民の皆様、遠別町、管内JA並びに関係機関からの多大なるご支援とご理解を厚くお礼申し上げます。

今年度は、4月に16名の新入生を迎え、全校生徒47名でのスタートとなりました。入学生徒の特徴としては、新潟県から1名。札幌、稚内から各4名。千歳2名。天塩2名。遠別、羽幌、留萌が各1名の計16名です。誠に残念なことに地元からは、わずか1名という形になってしまいました。地元遠別中学校の生徒は、3年生が5名。2年生が2名。そして1年生が1名の計8名です。地域に必要とされる学校として、地域の方々や中学生からも魅力のある学校として如何にあるべきか、本校の教育活動の真価が問われています。今年度、本校が学校関係や地域とともに活動してきたことを報告いたします。

【保育園】

○花壇造成活動　6月27日（3時間）5歳児22名と本校2年生13名、500株を定植。

○枝豆交流学習　9月14日（3時間）5歳児22名、4歳児19名、計41名、引率2名、本校1・3年生33名対応。

【小学校】

○田植え交流　5月31日（2時間）5年生15名、引率2名、本校2年生13名

○トウモロコシの植え付け交流　6月17日（3時間）小学1年生18名、引率2名、本校2年生13名。

○トウモロコシの収穫交流　9月23日（4時間）小学1年生18名、本校2年生13名。

○稲刈り交流学習　10月5日（3時間）小学5年生15名、引率2名、本校2年生13名。

○収穫感謝祭《餅つき》　11月9日（2時間）小学5年生15名、引率2名、全校生徒が46名。

【中学校】

○第1回中高連携授業　6月17日（トウモロコシ、ニンジン、ジャガイモ、カボチャ等の播種、及び定植）中学2年生21名、本校3年生産コース9名。

○第2回中高連携授業　7月5日　畑観察管理作業・羊舎見学…中学2年生21名、本校3年生産コース9名。

○第3回中高連携授業　8月23日　畑観察管理作業・ハウス野菜管理…中学2年生21名、本校3年生産コース9名。

○第4回中高連携授業　9月12日　観察収穫作業…中学2年生21名、本校3年生産コース9名。

○第5回中高連携授業（中学校にて食事会）中学2年生21名、本校3年生産コース9名。

以上のように保育園2回、小学校5回（他に小学校畑の耕起作業1回）、中学校5回と計12回の連携した活動を行っています。特に中学校とは、今年度から技術家庭の授業の一環として実施しています。まだ、はっきりとした検証はされていませんが、これら5回の連携授業によって本校への理解度は深まっていると考えています。

農業高校には、教育の基本となる資源が豊富です。この資源を活用していただき、幼い頃から農業や食の体験を積み重ねることは遠別町の教育には大切なことだと考えています。中学校との連携事業は、今後もより充実させるために協議を重ねていく計画でいます。地元中学生に本校の魅力を理解していただき入学したい学校になれるように、これからも連携を深めていきたいと考えています。

また、遠別町における本校の地域活動として、各種イベントへの協力（山菜まつり、ひらめオーナーin遠別、農業祭り等）、ボランティア活動としては（緑の募金活動、町内クリーン作戦、花いっぱい運動、植樹祭、交通安全啓蒙活動等）地域おこし活動としては、ふるさと納税サミットへの参加、ふるさとチョイス番組への協力、ふるさと納税返礼品の協力等が上げられます。地域の方に信頼され、必要とされる学校として努力いたします。

今後は、更なる教育内容の充実と生徒の向上心の育成に力を注ぎ、魅力ある学校づくりを推進していきます。これからも、北海道遠別農業高等学校教育振興会に対する変わらないご支援を賜りますようお願い申し上げます。

食彩フェア

1年　土門　紗哉華



私は、10月8日に旭川で行われた食彩フェアに参加してきました。初めて名前を聞くイベントで、他にもたくさんの農業高校で作った加工品や農産物を販売すると聞き、少し不安な気持ちもありましたが、ぜひ経験してみたいと思い参加しました。

当日は、開店前に発声練習、商品確認をしました。自分が思っているよりたくさんの人が来店され、とても驚きましたが、お客さんに失礼のないよう心掛けました。

遠別農業高校で売った商品は、ベリーラ、ポークベーコン、ラムソーセージ(プレーン)、もち米でした。すべて売り切ることはできませんでしたが、お客様にありがとうと言われ、とても達成感あふれる販売会となりました。

この食彩フェアのために準備をして下さった、イトーヨーカドーさんや先生方、そしてこのような機会をいただいた教育振興会の皆さん、本当にありがとうございました。この経験を学校生活や普段の生活に生かしていきたいです。

農業クラブ全国大会に出場して

3年　荒川　裕太



10月26日～27日に大阪府で第67回日本学校農業クラブ全国大会が開催されました。

私は、農業鑑定競技の食品科学コースに出場しました。三年生になり初めて北北海道技術競技大会に出場し、一生懸命勉強に打ち込んだ努力の成果もあり、最優秀賞をとることができ、全国大会に出場しました。

大会参加にあたり、緊張や不安がありましたが、過去問題や北大会で出題されて答えられなかった問題を見直したり、単語帳形式の学習カードを使い、基本問題を解くなどして大会に備えました。残念ながら入賞することができませんでしたが、全国大会を通じて自身を成長させることができ、とてもいい経験になったと思います。私はこの大会で学んだことを、今後の学校生活や進路に活かしていきたいと思います。

最後に指導していただいた先生方、このような経験をさせていただいた教育振興会の皆様、遠別町の皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

農業クラブ全国大会に出場して

3年　森　駿介



私は10月26・27日に開催された第67回日本学校農業クラブ全国大会大阪大会に出場してきました。

私は農業鑑定競技会、分野農業で参加しました。全国大会には2度目の参加となります。今年度は実施基準が大幅に変更され、果樹や草花といった園芸系の基準が削除された代わりに農業経済、経営、簿記などの基準が追加されたため、基準の半分程度を覚え直さなければならず苦労しました。

また、北北海道大会を突破してからは定期考査や進路活動があり昨年度のように勉強時間が確保できず、1週間程度の復習のみで大会を迎えることになりました。

大阪は最高気温7℃の遠別町と比べ最高気温25度ととても暖かく、日中では暑いぐらいでした。競技の問題は基準変更後、初の全国大会ということで難易度はあまり高くありませんでした。結果は昨年度と同じ優秀賞を受賞することができました。

最後に指導していただいた先生方、このような貴重な体験をさせていただいた教育振興会の皆様、遠別町の皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

初めての寮生活

3年　布目　伸樹



初めての寮生活。入りたての時は、何をすればいいのかわかりませんでしたが、自分たちが困っている時は3年生や2年生が教えてくれました。1年生の役割は食事当番とお風呂の掃除、玄関掃除でした。先輩と関わっていく中で、しっかり敬語を話せるようにならなければと思いました。2年生になって後輩もでき、寮のことをいろいろと教えました。

2年生の寮の役割は毎日のゴミ出しですが、冬のゴミ出しはとりわけ辛く感じました。でも僕は、2年生の時が一番楽しかったです。

そして3年生になり、寮の最高学年になりました。後輩にいろいろと教えたり、後輩の見本にもならないといけないので、プレッシャーがありましたが、3年生として模範となれるよう心掛けました。

寮生活では大変なことも多々ありましたが、敬語の使い方やコミュニケーションの大切さ、集団行動の大変さなどを学ぶことができました。このような経験をさせてくれた親、教育振興会の皆さま、本当にありがとございました。

これから巣立っていく我々3年生は、この和敬寮で学んだことを生かして、これからも頑張っていきます。3年間ありがとうございました。

交流センターでの生活

3年　鬼頭　沙弥



私は、遠別町次世代多目的交流センターが完成して2年目に入所しました。

入所したばかりの頃は、慣れない共同生活や先輩との関係に戸惑うことが多く、ホームシックになることもありました。実家で好きな時間にご飯を食べ、好きな時間に寝ていた私にとって起床時間や就寝時間をはじめ、食事の時間から入浴・外出の時間まで事細かく決められているということがとても窮屈でストレスを感じるほどでした。

ですが、徐々に交流センターでの生活にも慣れ、3年生となった今ではセンター長として、ここで生活している5人をまとめ、より

平成28年度 資格取得者一覧

(2015年11月～2016年11月)

危険物取扱者	丙種	8名
文部科学省後援 硬筆書写検定		
	2級	1名
	4級	13名
文部科学省後援 日本漢字能力検定		
	4級	1名
全経 簿記能力検定	3級	8名
	4級	14名
P検協会 ICTプロフィシエンシー検定		
	準2級	4名
	3級	7名
	4級	12名
ガス溶接技能講習修了		17名
アーク溶接特別教育修了		17名
日本農業技術検定	3級	14名

良い生活ができるよう努めています。交流センターでは、クリスマス会や和敬寮生との合同レクなど楽しいイベントもたくさんあり、3年間楽しく生活を送ることができました。

私たちの栄養を考えて3食のメニューを考えてくださる栄養士さんや、生活をしやすいように支えてくださった管理人さん、このような貴重な経験をさせてくださった親や教育振興会の皆様方に感謝しています。

特に、毎日の食事・弁当作りはもちろんのこと、体調の変化にすぐ気づき心配してくださったり、相談に快くのってアドバイスをしてくださった配膳係の方にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。

私は交流センターでの生活を通して、時間を守ること、礼儀を身につけることができました。ここで身につけた様々なことを、今後の生活に生かしていきたいと思います。



平成28年度 北海道遠別農業高等学校海外研修報告

海外研修を通して感じたこと

3年　坂川詠祐

7月25日、多くの保護者や先生方に見送られ、私たちはオーストラリアへ旅立ちました。

今年は、台湾を経由せず、千歳空港から羽田空港へ行き、直接オーストラリアに向かいました。

1日目は、バスで移動し、飛行機でオーストラリアに向かいました。初めての機内泊、また明日の朝にはオーストラリアにいるということで、緊張や不安であまり眠ることができなかった人が多かったようです。飛行機の中では、映画を見たり、ゲームをしたり、音楽を聴いたりして過ごしました。

2日目になり、オーストラリアに到着しました。気温は少し肌寒く感じました。バスで移動し、教会やオペラハウスを見学して、外国の景色、街並みがとても綺麗だと感じました。また、レストランへ行きフィッシュ&チップスを食べ、ご飯の代わりにパンが出るなどといった食文化の違いについても知ることができました。

3日目は、自主研修でした。各班でテーマに沿って計画を立てました。私の班では「食文化」について調べるため、多くのレストランに行きました。また、不慣れな英語で訪ねても親切に教えてくれ、とても充実した自主研修にすることができました。

4日目は、ハールストン農業高校へ訪問し交流しました。現地の高校生とペアになり、プレゼント交換や手紙を読み合いました。また、農場ではブタやニワトリ、ヤギなどの本校では飼育していない動物たちを見ることができ、勉強になりました。



今回の研修を通して、言葉や文化が違っていても通じ合うことができると思いました。また、日本の良さを改めて感じることができ、充実した海外研修になったと思います。

最後に、教育振興会に皆様にはこのような機会を与えて頂き、多大な費用を負担して頂いたことに感謝しています。本当にありがとうございました。

北海道遠別農業高等学校

教育振興会 役員・理事

【平成29・30年】

顧問　笹川洸志
富士原栄治（町長）
小林一之（教育長）
小森嘉孝（元会長）
細川徹（前会長）

会長　内山勝弘
副会長　北川彰
中島和浩
監事　小林満
萩谷泰夫
会計　佐々木一志
橋本真（事務長）

理事
一区　北川彰
二区　柏谷美春
三区　中島和浩
四区　清水道彦
五区　穀蔵悦生
錦町　白崎定男
緑町　調整中
汐見町　佐々木一志
文光町　越谷幸男
北浜　藤本秀光
若葉町　杉本栄治
幸和　南部政治
久光　奥野昌則
中央　松田清
共栄　牧野和則
東　水野健一
啓明　竹之内善広
清川　浅田薫
旭　小林繁幸
歌越　長谷川晃博
北島　加藤幸次
国枝　勝弘
富士見・金浦　田村清高
北里　丸松草刈忠和
調整中



平成28年度 教育振興会会務報告

◆4月
11　入学式、次世代多目的交流センター8名入居(新入生3名)
28　振興会総会(平成27年度会務・会計決算報告・平成28年度会務計画・会計予算案審議　ほか)

◆5月
11～15　ガス溶接資格取得助成(3年生17名)
16～18　アーク溶接資格取得助成(3年生17名)
22　留萌管内JA補助申請訪問(会長・校長・事務長)
30～7・3　インターンシップ(町内企業・町役場ほか　2年生17名)

◆7月
4～5　農業クラブ北北海道意見発表大会(3名出場剣淵町)
5　留萌管内中学校訪問　9校(教育長、振興会長、校長)
7　留萌管内中学校進学説明会(初山別中)
8　宗谷管内中学校訪問　8校(教育長・振興会長・校長)
13　留萌管内中学校進学説明会(羽幌中)
20　留萌管内中学校進学説明会(遠別中)
21～22　農業クラブ北北海道技術競技大会(16名出場旭川市)
《農業鑑定競技》
農業　最優秀賞　3年　森　駿介
食品科学　最優秀賞　3年　荒川　裕太
家畜審査競技　最優秀賞　3年　道見　玲良
優秀賞　2年　中村　望威
フラワーアレンジメント競技　最優秀賞　2年　工藤　佑季
優秀賞　2年　生出　一絵
《農業情報処理競技》　優秀賞　3年　八巻亜莉沙
25～27　全道高校農業教育研究集会参加・農場協会北海道支部大会助成(網走市)
25～30　海外研修(3年生17名、引率3名　オーストラリア)研修先(ハールストン農業高校、ミセスマックォーリーズ岬、オペラハウス、ローカルスーパーマーケット、シドニー水族館、PADDY'S MARKET、ブルーマウンテン、ワイルドライフパーク見学ほか)

◆8月
23　宗谷管内中学校訪問　8校(町長・教育長・振興会長・校長)
29　留萌管内中学校訪問　10校(町長・教育長・振興会長・校長)
31　宗谷・上川管内中学校訪問　7校(振興会長・校長)

◆9月
5～7　札幌市内・石狩・空知管内中学校訪問　23校(町長・教育長・振興会長・校長)
8　宗谷管内中学校訪問　3校(教頭)
21　中学生一日体験入学(16校　39名参加)
29～30　札幌市内中学校訪問　27校(生徒募集員会)
30　PTA札幌地区教育懇談会(4名参加)

◆10月
8　農業高校食彩フェア(2名参加　旭川市イトーヨーカ堂)
17～20　旭山動物園実習(2名参加)
20　留萌管内中学校進学説明会(留萌北光中)
27　留萌管内中学校進学説明会(増毛中)
26～27　農業クラブ全国大会(2名参加　大阪府)
《農業鑑定競技》
農業　優秀賞　3年　森　駿介

◆11月
5～6　全国産業教育フェア石川大会(1名参加　石川大会)
フラワーアレンジメントコンテスト
22　PTA遠別・宗谷地区教育懇談会(6名参加)
28　振興会役員会・理事会

【予定】

◆12月
22　振興会便りNo.45発行

平成29年

◆1月
18～19　農業クラブ北北海道実績発表大会(遠別町)

◆2月
3～4　農業クラブ全道実績発表大会(士幌町)

◆3月
31　新聞報道等による諸活動実践記録作成

平成28年度 教育振興会予算執行状況 (28. 10. 31現在)

(収入の部)　単位　円

項目		当初予算額	変更予定予算増減額	予算額合計	収入済額	今後収入予定額	収入額合計
前年度繰越金		27,123	0	27,123	27,123	0	27,123
会費		262,500	0	262,500	59,780	202,720	262,500
遠別町助成	①資格取得助成費	674,454	0	674,454	560,880	113,574	674,454
	②運営助成費	420,000	0	420,000	420,000	0	420,000
	③バス通学助成金	2,763,400	0	2,763,400	961,710	1,801,690	2,763,400
	④寄宿舎助成費	8,283,040	0	8,283,040	6,567,360	1,715,680	8,283,040
	⑤海外研修助成金	4,296,180	86,956	4,383,136	4,383,136	0	4,383,136
	⑥生徒募集助成金	900,000	150,000	1,050,000	900,000	150,000	1,050,000
	⑦遠別町就学助成	480,000	0	480,000	480,000	0	480,000
	⑧帰省及び生徒指導助成	707,504	0	707,504	307,320	400,184	707,504
	⑨入学時諸経費助成	1,202,796	△55,096	1,147,700	1,202,796	△55,096	1,147,700
オロロン農協助成		200,000	0	200,000	200,000	0	200,000
その他農協助成		50,000	0	50,000	50,000	0	50,000
その他補助金等		41,000	0	41,000	0	41,000	41,000
雑収入		3	1,140	1,143	1,048	95	1,143
合計		20,308,000	183,000	20,491,000	16,121,153	4,369,847	20,491,000

(支出の部)　単位　円

項目		当初予算額	変更予定予算増減額	予算額合計	支出済額	今後支出予定額	支出額合計
会議費		3,000	0	3,000	0	3,000	3,000
庶務費		2,000	0	2,000	0	2,000	2,000
通信費		30,000	0	30,000	8,118	21,882	30,000
旅費		10,000	2,838	12,838	12,838	0	12,838
印刷費		60,000	△15,000	45,000	0	45,000	45,000
調査研究費		80,000	99,460	179,460	0	179,460	179,460
進路対策費		40,000	△10,130	29,870	29,870	0	29,870
遠征対策費		350,000	△72,000	278,000	255,007	22,993	278,000
生徒就学援助	①資格取得助成費	674,454	0	674,454	614,020	60,434	674,454
	②運営助成費	420,000	0	420,000	321,025	98,975	420,000
	③バス通学助成金	2,763,400	0	2,763,400	982,790	1,780,610	2,763,400
	④寄宿舎助成費	8,283,040	0	8,283,040	5,657,880	2,625,160	8,283,040
	⑤海外研修助成金	4,296,180	86,956	4,383,136	4,383,136	0	4,383,136
	⑥生徒募集助成金	900,000	150,000	1,050,000	1,015,620	34,380	1,050,000
	⑦遠別町就学助成	480,000	0	480,000	480,000	0	480,000
	⑧帰省及び生徒指導助成	707,504	0	707,504	651,334	56,170	707,504
	⑨入学時諸経費助成	1,202,796	△55,096	1,147,700	1,147,700	0	1,147,700
予備費		5,626	△4,028	1,598	0	1,598	1,598
合計		20,308,000	183,000	20,491,000	15,559,338	4,931,662	20,491,000